

県議選 4月3日告示 12日投票

安倍暴走政治と対決 福祉、暮らしを守る県政へ



梅村議員（左から6人目）とともに声援に応える予定候補者＝宇都宮市

野村せつ子事務所開設

場所 党県委員会事務所1F
宇都宮市東浦町21-12
(東武西川田駅より徒歩15分)

電話 028-659-1616



国交省に要請する(左から)福田、荒川、野村、梅村、塩川の各氏＝衆院第一議員会館

日本共産党県委員会と宇都宮市議団は28日、市がすすめる次世代路面電車システム(LRT)導入計画と、豪雨対策である越戸川バイパス整備事業をめぐり、国交省に説明を求め、申し入れ書を提出しました。野村せつ子副委員長、荒川恒男、福田久美子両市議が向かい、塩川鉄也、梅村さえこ両衆院議員が同席しました。LRTの総事業費は、駅西口ルートを合わせ約700億円と試算される。無駄な大型開発事業。導入をめぐり、市議会史上初となる是非を問う内容の住民投票案が提出(昨年1月)されるなど、市民の意見は大きく二分したままです。しかし、市は工事を始める国への手続きに着手したため、導入反対の一点で共同の運動がすすめられていません。また、越戸川整備計画のたびに床上浸水被害を受ける世帯での行政不信は尋常ではない。事業補助の増額、計画の見直しをすすめる、一刻も早く解決してほしい」と要請しました。

いっせい地方選挙、県議選投票日まで3カ月を切りました。日本共産党栃木県委員会は、前半戦で県議席奪還宇都宮市・上三川町区(定数13)と、後半戦の市町選で勝利・躍進をめざします。パワーアップした国会議員団と連携し、安倍暴走政治と対決。県民の福祉と暮らしを守る対案を示し、「一点村氏は「自共対決のため、たかひに燃えています。」

この議員バジに込められたみなさんの思いに応え、「頑張ります」とあいさつ。野村せつ子県議予定候補は、議席を失ったこの約4年間で、県民から寄せられた要望をまとめ、県に31件の申し入れをしたことを紹介。「行動力は現職議員に負けていません。全力で働きます」と決意を述べ、支援を訴えました。

宇都宮市南地域の緑・陽光支部は、野村候補を支援を訴えました。

国交省要請 LRT導入許可するな 越戸川整備事業早急に

日本共産党県委員会と宇都宮市議団は28日、市がすすめる次世代路面電車システム(LRT)導入計画と、豪雨対策である越戸川バイパス整備事業をめぐり、国交省に説明を求め、申し入れ書を提出しました。野村せつ子副委員長、荒川恒男、福田久美子両市議が向かい、塩川鉄也、梅村さえこ両衆院議員が同席しました。LRTの総事業費は、駅西口ルートを合わせ約700億円と試算される。無駄な大型開発事業。導入をめぐり、市議会史上初となる是非を問う内容の住民投票案が提出(昨年1月)されるなど、市民の意見は大きく二分したままです。しかし、市は工事を始める国への手続きに着手したため、導入反対の一点で共同の運動がすすめられていません。また、越戸川整備計画のたびに床上浸水被害を受ける世帯での行政不信は尋常ではない。事業補助の増額、計画の見直しをすすめる、一刻も早く解決してほしい」と要請しました。

栃木民主新報

日本共産党栃木県委員会
発行人 小林年治
栃木県宇都宮市東浦町21-12 〒321-0167
電話 028(658)4302
FAX 028(658)4374
発行日 毎月第3日曜日
1ヵ月100円



対話する野村さん



一気にポスターを貼り切ろうと頑張る支部の人たち

戦争する国づくりストップ!



「戦争する国づくりストップ! 憲法を守りいかに共同センターとちぎ」は9日、県庁前で昼休み集会を開き、参加者約60人が市役所前までの約1キロをパレード。「安倍政権の暴走をみんなの声と行動で止めよう」と訴えました。集会で、県労連の阿波長次議長は、過激武装組織「イスラム国」による日本人殺害事件を「利用」した安倍政権の憲法9条改正の動きを厳しく批判。「大きな国民世論をおこそう」と訴えました。

2015年旗開き 県労連

栃木県労連は1月31日、宇都宮市内で2015年旗開きを行いました。昨年を上回る約60人が参加し、青ざすたたいをさらに盛りあげよう」と呼びかけました。

阿波長次議長は、あいさつで「財界が賃上げを口にするようになったが、たたかいはこ



沖縄知事選で他陣営が配布した法定ピラを手に講演する小泉氏

【資料】2014年度 栃木県子ども医療費助成制度・市町別実施状況

市町名	対象年齢																		備考			
	入院						通学						肩代わり負担	現市物町給付単	入院時食費	療養費助成						
	小学校			中学校			小学校			中学校							高校					
	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年	5年	6年					1年	2年		3年		
1 宇都宮市			●															●	●	小6まで県内医療機関の入・通院を現物給付		
2 足利市						●												●	●	未就学児まで市内医療機関の入・通院を現物給付		
3 栃木市						●												●	●	中3まで県内医療機関の入・通院を現物給付		
4 佐野市						●												●	●	中3まで市内医療機関の入・通院を現物給付		
5 鹿沼市						●												●	●	中3まで市内医療機関の入・通院を現物給付		
6 日光市																		●	●	高3まで県内医療機関の入・通院を現物給付		
7 小山市						●												●	●	小6まで市内医療機関の入・通院を現物給付。入院時食事療養費は償還払い		
8 真岡市						●												●	●	未就学児まで市内医療機関の入・通院を現物給付		
9 大田原市																		●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
10 矢板市																		●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
11 那須塩原市																		●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付。未就学児まで自己負担割合あり。小学生1レセプト500円、高3までは2000円徴収		
12 さくら市																		●	●	未就学児まで県内医療機関の入・通院を現物給付		
13 那須烏山市						●												●	●	未就学児まで県内医療機関の入・通院を現物給付		
14 下野市						●												●	●	未就学児まで県内医療機関の入・通院を現物給付		
15 上三川町						●												●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
16 益子町						●												●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
17 茂木町						●												●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
18 市貝町						●												●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
19 芳賀町						●												●	●	中3まで町内医療機関の入・通院を現物給付		
20 壬生町						●												●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
21 野木町																		●	●	小6まで小山地区医療機関の入・通院を現物給付(上三川町歯科は除く)		
22 塩谷町																		●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
23 高根沢町						●												●	●	18歳まで町内医療機関の入・通院を現物給付		
24 那須町																		●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
25 那須川町						●												●	●	未就学児まで那須郡市内医療機関の入・通院を現物給付		
計			1			16			8			1			16			8	19	11	14	●は、現物給付

【栃木県の制度】2014年度 ○助成対象：医療保険適用のすべての疾病(入院時食事療養費を除く) ○対象年齢：入・通院とも小学6年生まで
○給付方法：入・通院とも3歳未満は現物給付、3歳以上は償還払い ○所得制限：なし
○自己負担：入・通院とも3歳以上1レセプト500円(薬局を除く)

安倍政権の暴走ストップ 福祉と暮らしを守る地方政治の実現を

日本共産党演説会

■3月8日(日) 午後7時～
■宇都宮市文化会館小ホール

前県議 野村せつ子
宇都宮市議 荒川つねお
宇都宮市議 福田くみ子
参議院議員 大門みきし

足利市議 おげき栄子